

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 財務課
 担当名: 財産管理担当・施設整備担当
 内線: 6646 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P4	県立学校体育館整備費			一般会計	教育費	教育総務費	教育財産管理費	県立学校体育館整備費	
事業期間	昭和58年度～	根拠法令	なし			針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4, 13
						分野施策	0504 質の高い学校教育の推進	SDGsターゲット	4-5, 4-a, 13-1
1 事業概要	建築後長期間経過し老朽化の激しい県立学校の体育館について、計画的に改修工事を実施し、建物の長寿命化と学習環境の整備を図る。 次に、近隣に空調設備が整備された避難所が無い防災拠点校14校に体育館空調設備を設置する。 ア 体育館整備費 △684,514千円 委託料、工事請負費が見込みを下回ったこと等による減 イ 体育館空調整備 △6,055千円 委託料が見込みを下回ったこと等による減			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 体育館整備費 改修設計、改修工事 1,125,693千円 イ 防災拠点校体育館空調整備 設計 23,015千円 (2) 事業計画 ア 老朽化が進んでいる体育館について、改修工事を実施する。 イ 近隣に空調設備が整備された避難所が無い防災拠点校14校に体育館空調設置工事を実施する。 ウ 令和5年度 (ア) 改修設計 4校8棟 改修工事 4校4棟 (イ) 防災拠点校体育館空調整備設計 7校 (3) 事業効果 児童・生徒の安全の確保、建物の長寿命化と維持修繕の低減、災害時避難民に快適な環境の提供 ア 令和4年度 : 改修設計 3校 3棟、改修工事 2校 3棟 イ 令和3年度 : 改修設計 2校 3棟、改修工事 1校 2棟 ウ 令和2年度 : 改修工事 2校 3棟、災害対応用電気設備 設計 7校、工事 14校 (4) 補正予算の概要 ア 体育館整備費 改修設計、改修工事 : 委託料、工事請負費が見込みを下回ったこと等による減 イ 防災拠点校体育館空調整備 設計 : 委託料が見込みを下回ったこと等による減					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 公共施設等適正管理推進事業債(長寿命化事業)(997,000千円)の元利償還金の33%及び緊急防災・減災事業債(22,000千円)の元利償還金の70%が後年度基準財政需要額に算入される。									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		県 債							
決定額	△690,569	△690,000						△569	1,148,708
現計額	1,839,277	1,819,000						20,277	

事業内訳書

事業名	県立学校体育館整備費		
単位事業名	体育館整備費	予算額	△ 684,514千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・教育債	△684,000	—	県立高等学校建設事業債 県立特別支援学校建設事業債
一般財源	△514	—	
合計	△684,514	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△53	—	執行留保等による普通旅費の減
需用費	△655	—	執行留保等による消耗品費、燃料費、印刷製本費の減
役務費	△581	—	執行留保等による通信運搬費の減
委託料	△26,460	—	見込みを下回ったことによる設計費の減
工事請負費	△656,765	—	見込みを下回ったことによる県立学校4校の工事費の減

単位事業名	体育館整備費	予算額	△ 684,514千円
-------	--------	-----	-------------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	△684,514	—	

単位事業名	体育館空調整備	予算額	△ 6,055千円
-------	---------	-----	-----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・教育債	△6,000	—	県立高等学校建設事業債
一般財源	△55	—	
合計	△6,055	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△19	—	執行留保等による普通旅費の減
需用費	△6	—	執行留保等による消耗品費、燃料費、印刷製本費の減
委託料	△6,030	—	見込みを下回ったことによる設計費の減
合計	△6,055	—	